

# 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

放課後等デイサービスひまわり 袋井山梨校

令和4年10月4日実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・身体を動かす、宿題をする、製作をするスペース等を部屋別に分けて活動しているが、十分なスペースの確保が難しい。職員室をクールダウンの場所とした。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・児童福祉法に基づき必要な職員数を配置している。 ・場合によっては1対1の対応を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・スペースを広く使えるよう配置した。 ・段差には気をつけて支援している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			・利用児の個別支援計画、モニタリング、支援会議には出席し、意見交換を行っている。 ・毎日職員同士での話し合いや振り返りを行っている。 ・今後も振り返り等、積極的に意見交換を行っていく予定。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者とは、口頭や連絡ノートにて連絡を取り、都度改善をおこなっている。 ・保護者アンケートをおこなった。(今年は10月)
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・HP上に公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・今後外部評価をしてもらい、業務改善につなげたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・校舎内研修を適宜行っている。 ・今後、より様々な研修に参加する予定。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・同席者を設け、面接を行っている。 ・職員同士で共有・確認をした上で作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・校舎独自のツールを使用している。 ・行動と学習に関する基礎調査票を利用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・様々な意見交換や情報を集めた上で、スタッフミーティングで検討し計画・立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・他校舎のアイデアを参考したり、子どもたちの思いやアイデアを広げながら、活動が固定化しないようにしている。 ・工作などは工程を分割し、楽しめるように計画している。 ・保護者からの相談を含め、その時必要な支援、利用児にあった活動等を考えて行っている。 ・季節ごとの様々なプログラムを準備している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・個別支援計画書、保護者アンケート結果等を参考にし、その子にあった支援課題を検討し行っている。 ・スタッフミーティングにて話し合いをし決定している。 ・楽しいプログラムの中にも課題を組み込む様にしている。 ・長期休暇のときは事前に午前・午後でプログラムを分けている。また、休日にしかできない活動を多く取り入れている。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個々の特性や、その日の利用人数の状況に応じて、スタッフミーティングをして決定している。 ・利用児の特性に合わせて計画している。 ・月間プログラムに集団活動と個別活動を組み合わせ計画案を作成している。	

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・事前に確認し、職員間の共通理解に努めている。 ・職員のスキルに合わせた役割分担をしている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・児童が帰宅した後、ケース記録を記入しながら今日の全体の様子や個人の様子、反省点を職員同士で話し合い共有し、支援につなげている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・ケース記録を記入し、全職員と情報共有をしている。 ・記録をし、毎日目を通す事で改善を図っている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・相談支援センターの協力をもとに実施している。 ・今後も定期的にも実施していく予定。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・個々の状況にあわせて発達支援を行い、健全な育成を行えるよう、支援している。 ・保護者の悩みや相談を受け入れ、保護者支援も随時行っている。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達支援管理責任者が出席し、情報の共有を図っている。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・保護者、学校、他事業所等と連携をとり、トラブル回避に努めている。 ・ホームページ活用や送迎時に聞き取りを行っている。 ・送迎時、担当職員と情報交換を行っている ・学校と連携し、必要に応じて情報交換をしている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			・今現在医療的ケアが必要な利用児はいない。 ・医療的ケアが必要なお子さんにはひまわり袋井駅前校を案内している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			・保護者の許可のもと、資料を見せて頂き、情報共有ができるように努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			・卒業した利用児がない為未実施だが、今後卒業した場合は提供予定。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			・研修等があれば積極的に参加していく。 ・今後も連携を深めていきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		・コロナ禍で感染拡大を防ぐため、現在交流はないが、公園、外出先などで関わりをもつ機会がある。 ・きっかけを作るために今後計画をし、実施予定。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○				・法人として参加している。 ・研修には責任者だけでなく、職員が参加する機会も設けている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				・保護者アンケート、モニタリング、相談支援等で利用児の成長、及び課題の共有をしている。 ・校舎アセスメントツールを活用して保護者にわかりやすく伝えている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				・相談を受けた保護者への対応はその都度しているが、仕事等により時間が取れない保護者に対しては難しい現状にある。 ・今後スケジュール調整をし、保護者と話ができる機会を作っていく。 ・家庭内でのペアレント・トレーニングについては、どの程度支援していくか検討中だが後方支援は行っている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に重要事項説明書の説明を必ず行っている。</li> <li>・変更時は速やかに保護者に伝えている。</li> </ul>
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノートを活用し、気軽に相談できるよう随時行っている。</li> <li>・電話対応やお迎え時、保護者からの相談に対応している。</li> </ul>
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に保護者会を開催している。</li> <li>・2月に保護者会や保護者参加型イベント等を行う予定。</li> </ul>
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノートを活用し、日々の出来事をわかりやすく伝え、安心して頂けるよう工夫している。</li> <li>・職員間の報告・連絡・相談を確実にしている。</li> </ul>
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわり通信やブログを通じ、保護者に明確な情報を伝えることができるよう、工夫している。</li> <li>・長期休暇の予定やブログは配信できている。</li> <li>・定期的に活動内容のわかる会報を発行している。</li> </ul>
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱い契約書に署名いただき、同意を得ている。</li> <li>・個人情報取り扱いに関する規程を定めている。</li> </ul>
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノートの活用。</li> <li>・送迎時の情報共有。</li> <li>・その子に合わせた支援を行っている。</li> </ul>
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で買い物支援・ボランティアごみ拾い清掃を行った。</li> <li>・今後地域の保育園との連携活動等計画中。</li> </ul>
非常事等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方にも事業所内研修会に参加頂けるよう計画。</li> <li>・随時文書等で伝えている。</li> </ul>
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は周知しているが、保護者には年度初め、保護者会を通して紙面を以って伝えている。</li> <li>・職員間では月毎に確認し、非常避難時にも対応できるようにしている。</li> <li>・校舎として、年2回は実施している。</li> </ul>
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自立支援協議会の研修に参加している。</li> <li>・市の福祉課、しあわせ推進課等と連携をとっている。</li> <li>・社内・校内研修及び地域自立支援協議会に研修に参加している。</li> </ul>
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後対象児には身体拘束を行う際の条件を決め、保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で計画に記載している。</li> </ul>
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の指示はないが、保護者の指示で対応している。</li> <li>・食物アレルギーがあるか等を保護者から聞き取りアセスメントシートに記入している。</li> </ul>
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットを有事の時には速やかに記入できるよう職員に周知させている。</li> <li>・カンファレンスで話し合いも適宜行っている。</li> </ul>